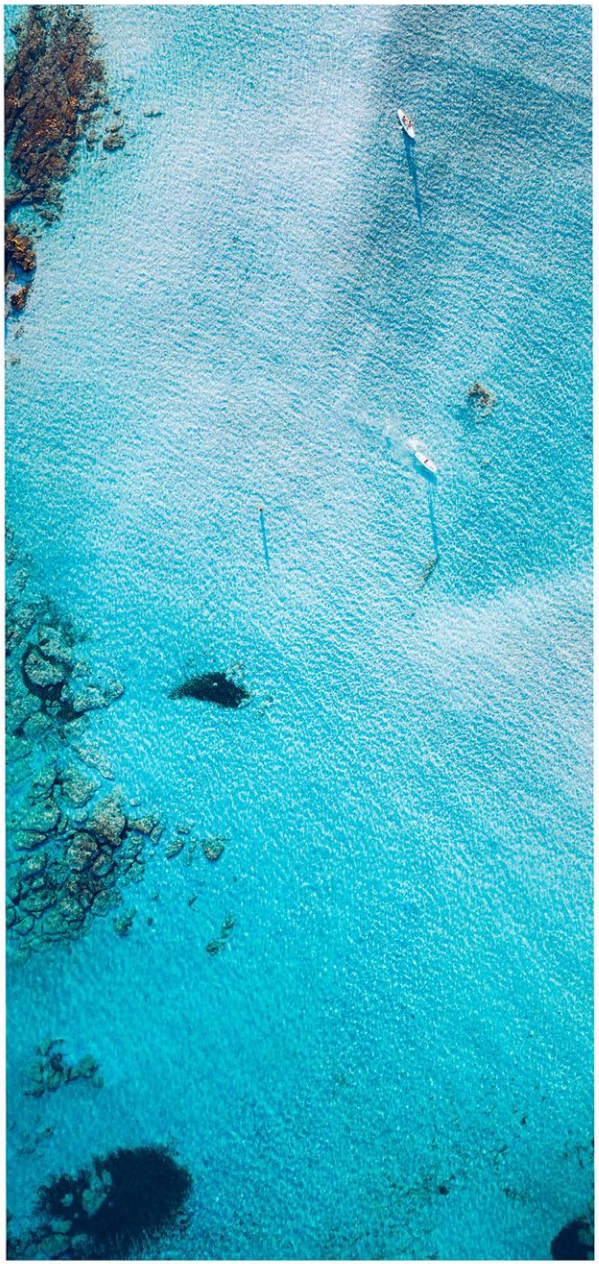
SEKISUIKASEI

2023年3月期 決算説明資料

Spiral-up 2024



積水化成品工業株式会社

（東証プライム　証券コード：4228）

2023年5月10日

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

目次

1 2022年度 決算概要

2 中期経営計画 Spiral-up 2024 見通し

3 積水化成品グループ100年ビジョンの一部改訂について

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1 2022年度 決算概要

2 中期経営計画 Spiral-up 2024 見通し

3 積水化成品グループ100年ビジョンの一部改訂について

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2022年度 決算概要

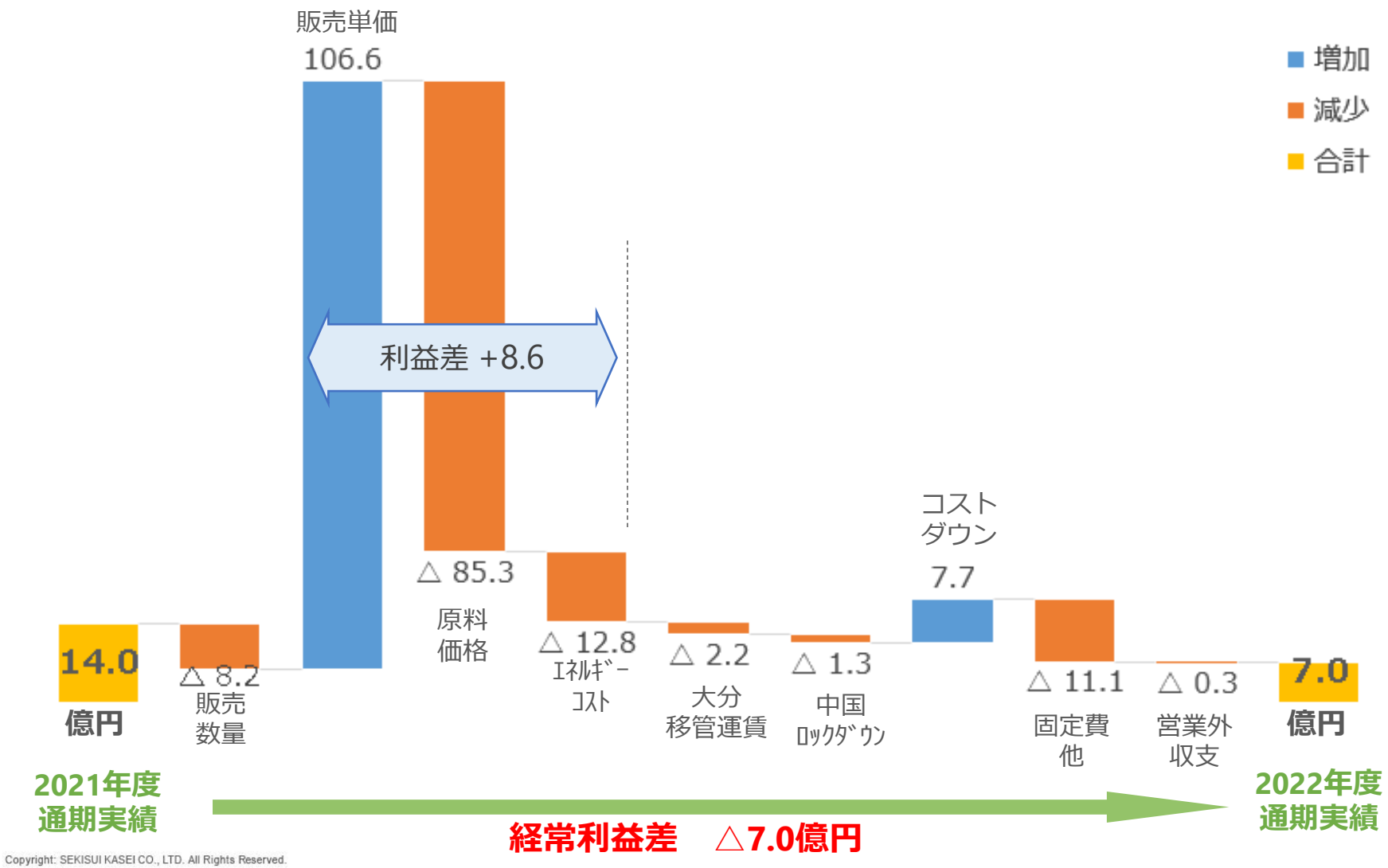
(単位：億円)	2021年度 通期	2022年度 通期		前年比		公表(8/2)対比	
	実績 (A)	公表 (8/2) (B)	実績 (C)	(C)-(A)		(C)-(B)	
売上高	**1,176**	1,250	**1,247**	71	106%	△ 3.2	100%
営業利益 <営業利益率>	**14.6** **<1.2%>**	9.5 <0.8%>	**7.9** **<0.6%>**	△ 6.7	54%	△ 1.6	83%
経常利益	**14.0**	10.8	**7.0**	△ 7.0	50%	△ 3.8	65%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ **59.2**	1.0	**4.5**	63.7	－	3.5	453%

- 前年比 「増収・減益」
  - 売上高　　：原材料高騰分の価格転嫁を進めたことなどで「増収」
  - 営業利益　：市況低迷による数量減と大分火災影響などで「減益」
  - 当期純利益：前年度に欧州子会社の特別損失計上があったことにより「増益」

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2022年度 経常利益増減要因（前年比）



Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2022年度 インダストリー分野 業績

(単位：億円)	2021年度 実績 (A)	2022年度 実績			前年比	
		上期	下期	(B)	(B)－(A)	
売 上 高	**680**	353	368	**721**	40	106%
営業利益 <営業利益率>	△ **13.3** －	△ 1.3 －	0.4 <0.1%>	△ **1.0** －	12.3	－
経常利益	△ **17.8**	△ 3.4	△ 0.6	△ **4.0**	13.8	－

●売上　エレクトロニクス：液晶パネル向け用途が在庫調整の影響を受け、前年比「減収」
モビリティ　　：自動車生産が徐々に回復し、前年比「増収」
医療・健康　　：テクノゲル・エラスティルともに、前年比「増収」

※原材料価格転嫁による売上増分も加え、分野全体として、前年比「増収」

●利益　エレクトロニクスの販売減による「減益」、モビリティは、一部地域(南東アジア)を除き回復傾向も、Proseat事業の損失分をカバーしきれず、インダストリー分野全体では「赤字」の着地

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2022年度 ヒューマンライフ分野 業績

(単位：億円)	2021年度 実績 (A)	2022年度 実績 上期	2022年度 実績 下期	2022年度 実績 (B)	前年比 (B)－(A)	前年比
売 上 高	**495**	256	270	**526**	31	106%
営業利益 <営業利益率>	**33.8** **<6.8%>**	7.0 <2.7%>	18.8 <7.0%>	**25.8** **<4.9%>**	△ 8.0	76%
経常利益	**33.8**	6.7	19.2	**25.9**	△ 7.9	77%

●売上　食　：ビーズ・シートともに「数量減」も、価格転嫁効果が影響し「増収」
住環境・エネルギー：土木用途は低調も、建築用途が好調で「増収」

※原材料価格転嫁による売上増分も加え、分野全体として、前年比「増収」

●利益　市況低迷による数量減と大分火災影響などで「減益」

●数量　シート：テイクアウト容器向けは堅調も、スーパーなどの生鮮食品トレー用途は落ち着きをみせ、即席めん容器用途の減少も加え、全体では「前年並み」
ビーズ：主力用途の農水産向け用途が低調、前年度まで好調だったクッションビーズの需要も落ち着き、全体では「減少」

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

2022年度 財政状況

(単位：億円)	2021年度 (A)	2022年度 (B)	前年比 (B)－(A)
総資産	1,433	1,452	＋ 18
純資産	582	585	＋ 2
自己資本比率	40.1%	39.8%	△0.3%
1株あたり純資産	1,272円86銭	1,275円00銭	+2円14銭
（参考）自己資本	575	577	＋ 2
現金及び預金	105	111	＋ 6
短期借入金	163	130	△ 32
長期借入金	139	181	＋ 42
社　債	70	70	± 0
有利子負債	371	381	＋ 10
D/Eレシオ（倍）	0.65	0.66	+0.01

- 有利子負債は為替レートの影響(+11億円)があり増
- 財政状況の大きな変動はない

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1 2022年度 決算概要

2 中期経営計画 Spiral-up 2024 見通し

3 積水化成品グループ100年ビジョンの一部改訂について

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

中期経営計画 Spiral-up 2024

基本方針

「持続可能社会への貢献」と「持続的な企業価値向上」の実現に向けて、「ESG経営」を土台に強靭な収益基盤を確立する

重点課題

（1）収益体質の強化

1）事業ポートフォリオの再構築

※5重点事業領域 「食」「エレクトロニクス」「モビリティ」「医療・健康」「住環境・エネルギー」

2）Proseat 事業の高収益体質構築

3）生産革新によるコスト競争力の強化

4）開発品の早期収益化

（2）環境・社会課題解決型事業への転換

5）循環型ビジネスによる環境貢献製品の拡大

6）カーボンニュートラル実現への挑戦

（3）経営基盤の強化

7）マテリアリティ(経営重要課題)の取り組み強化

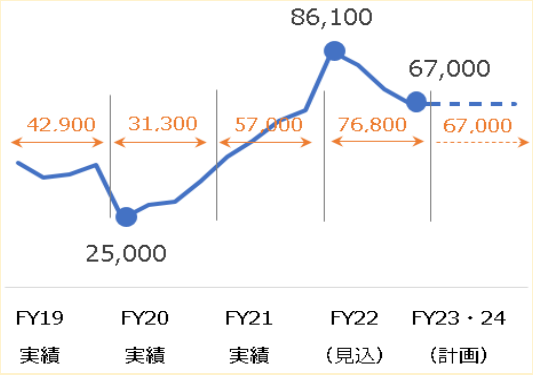
8）財務体質の強化

※3項目・8テーマ

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

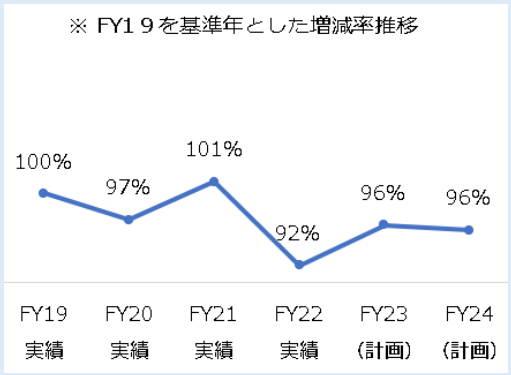
市況推移と見通し

国産ナフサ価格（円/kL）



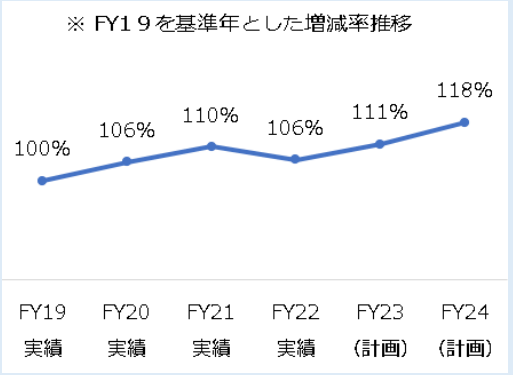
高騰はピークアウトも、高止まりと予測
地政学リスクなど動向は注視

ＥＰＳビーズ（業界全体数量）



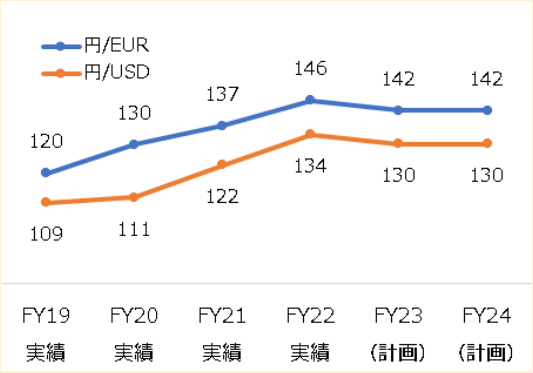
人流回復もあり、23年度は前年比増加
主力の水産用途は養殖増も、全体は低迷

液晶ディスプレイ（面積ﾍﾞｰｽ）



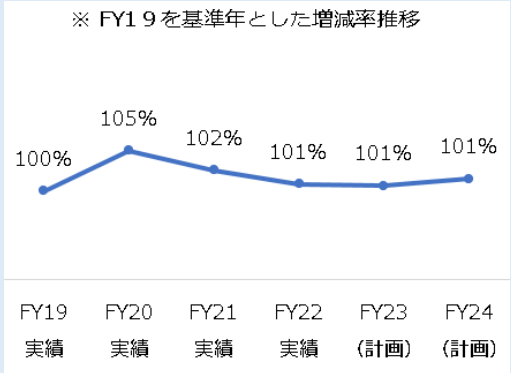
22年度に底打ちした需要が回復、パネル
大型化も伴い、市場伸長する見通し

為替レート（3月末決算レート）



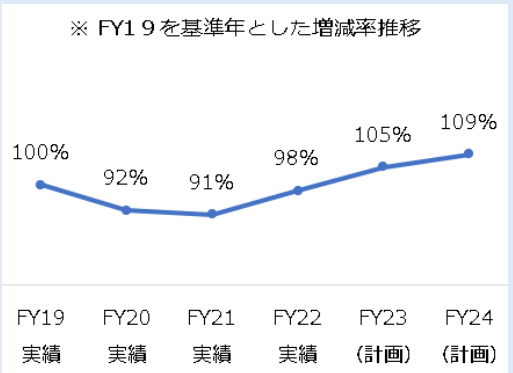
各国の金融政策など不透明感が高いが、
直近レートで計画設定

ＰＳＰシート（業界全体数量）



内・中食需要は落ち着くも、堅調に推移
リサイクルやリデュースのニーズは増加

自動車世界生産（台数）



世界全体で徐々に回復傾向も、地域により
回復の度合いは異なる

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

中期経営計画 Spiral-up 2024

連結業績見通し

	前中期	Spiral-up 2024		
	2021年度 実績	2022年度 実績 （期初計画）	2023年度 見通し	2024年度 見通し （期初計画）
売　上　高	**1,176** 億円	**1,247** 億円 （1,250億円）	**1,300** 億円	**1,350** 億円 （1,350億円）
営 業 利 益	**14.6** 億円	**7.9** 億円 （18億円）	**20** 億円	**40** 億円 （50億円）
経 常 利 益	**14.0** 億円	**7.0** 億円 （16億円）	**17** 億円	**37** 億円 （48億円）
当期純利益	△**59.2** 億円	**4.5** 億円 （9億円）	**5** 億円	**24** 億円 （30億円）
R　O　E	ー	**0.8** % （1.5%）	**1.0** %	**3.0** % （3.0 %）

市場の将来予測、また、Proseatグループの業績回復見込み遅れなどを勘案し、中期経営計画の最終年度（2024年度）の業績目標を見直しました。

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

中期経営計画 Spiral-up 2024 業績見通し

セグメント別 業績

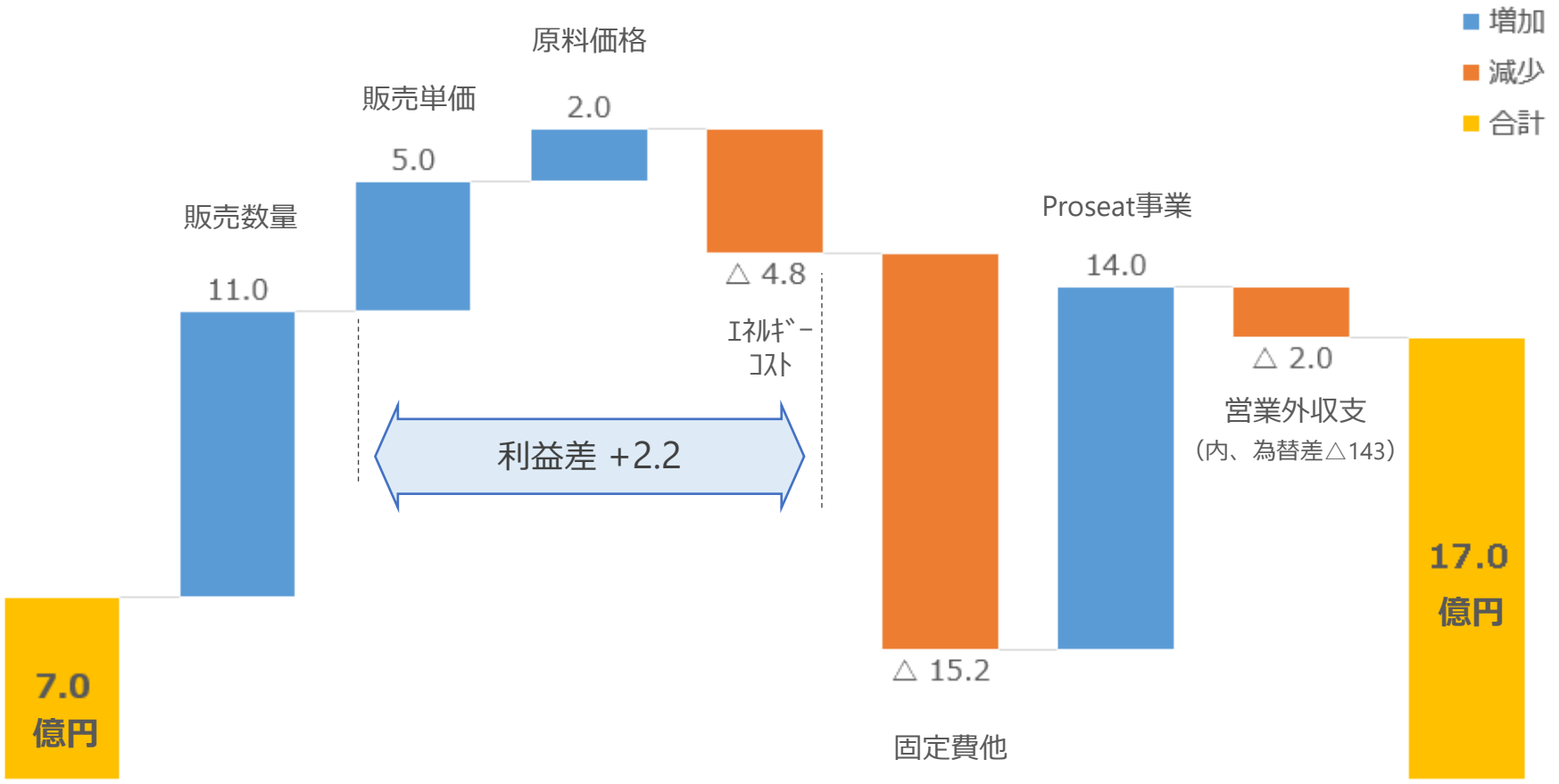
(単位：億円)	2022年度 実績			2023年度 (見通し)			前年対比		2024年度 (見通し)
	上期	下期	**通期**	上期	下期	**通期**	通期 増減額	通期 増減率	**通期**
売上高	609	638	**1,247**	640	660	**1,300**	53	104%	**1,350**
インダストリー	353	368	**721**	380	380	**760**	39	105%	**790**
ヒューマンライフ	256	270	**526**	260	280	**540**	14	103%	**560**
営業利益	△ 3	11	**8**	2	18	**20**	12	252%	**40**
(営業利益率)	―	1.7%	**0.6%**	0.3%	2.7%	**1.5%**			**3.0%**
インダストリー	△ 1	0	**△ 1**	0	15	**15**	16	―	**38**
ヒューマンライフ	7	19	**26**	13	14	**27**	1	105%	**31**
本社コスト	△ 9	△ 8	**△ 17**	△ 11	△ 11	**△ 22**	△ 5	―	**△ 29**

※ 本社コストにはDXなどのシステム費用などを含む

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2023年度 経常利益増減（前年比）



2022年度
通期実績

経常利益差　＋10 億円

2023年度
通期見通し

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2023年度 インダストリー分野 見通し

(単位：億円)	2022年度 実績 (A)	2023年度 見通し 上期	2023年度 見通し 下期	2023年度 見通し (B)	前年比 (B)－(A)	前年比	2024年度 見通し
売上高	**721**	380	380	**760**	39	105%	**790**
(基盤事業)	407	206	216	422	15	104%	440
(Proseat事業)	313	174	164	338	24	108%	350
営業利益	△ **1**	0	15	**15**	16	―	**38**
(基盤事業)	29	14	16	30	2	106%	38
(Proseat事業)	△ 30	△ 14	△ 1	△ 15	14	―	0

基盤事業、Proseat事業ともに、前年比「増収・増益」

エレクトロニクス
光拡散剤・梱包材

(テクポリマー・ピオセラン)

モビリティ
自動車部材・部品梱包材

(ピオセラン・EPS)

モビリティ
Proseat事業

医療・健康
導電性ゲル・シューズ部材

(テクノゲル・エラスティル)

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

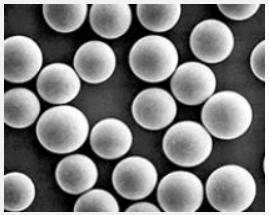
Spiral-up 2024

2023年度 インダストリー分野 （基盤事業）見通し

(単位：億円)	2022年度 実績 （A）	2023年度 見通し 上期	2023年度 見通し 下期	2023年度 見通し （B）	前年比 （B）－（A）	前年比	2024年度 見通し
売 上 高	**407**	206	216	**422**	15	104%	**440**
営業利益	**29**	14	16	**30**	2	106%	**38**
<営業利益率>	<7.1%>	<7.0%>	<7.4%>	<7.2%>	–	–	<8.6%>

対象市場における需要回復により、前年比「増収・増益」

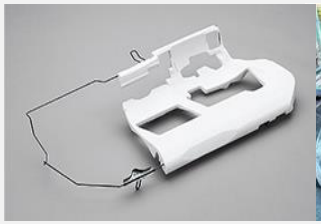
エレクトロニクス



●テクポリマー
主力用途の液晶ディスプレイ向けの需要が回復することにより「増収」

●ピオセラン梱包材
主力用途の液晶ディスプレイ向けの需要が回復することにより「増収」

モビリティ



●自動車部材
生産台数の回復に伴い「増収」
※新素材 ”ST-Eleveat” が、自動車シート芯材に初採用

●部品梱包材
部品の現地調達化もあり 「減収」

医療・健康

●テクノゲル
需要増の一方、更なる高収益化に向けた品種構成の組み換えなどにより、売上は 「前年並み」

●エラスティル
健康志向の高まりによる需要増加で「増収」

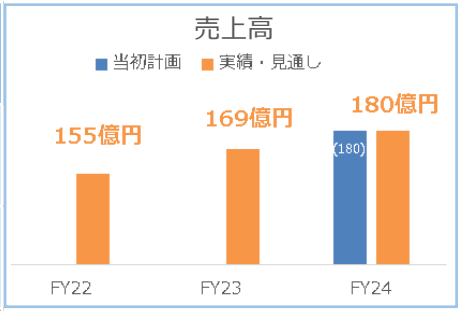
Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

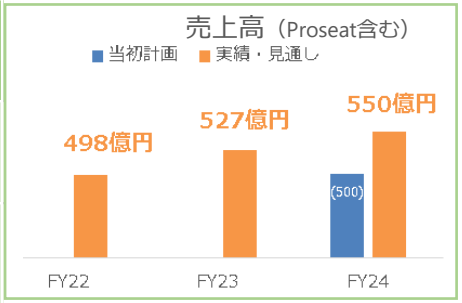
Spiral-up 2024

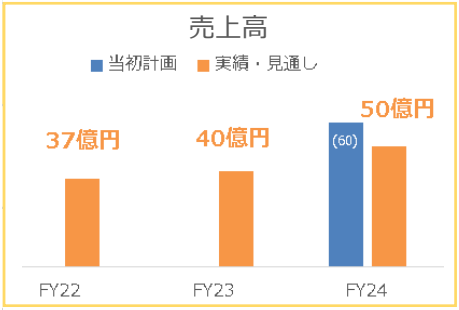
2023年度 インダストリー分野 （基盤事業）成長戦略

「ピオセラン」や「ST-Eleveat」による差別化戦略、「テクポリマー」の事業領域拡大、「テクノゲル」や「エラスティル」の新規展開で、グローバルに成長をはかる

エレクトロニクス	
ピオセラン	・梱包：ピオセラン2.0 高倍品により、競合優位性を再強化 ReNew⁺の市場投入、資源循環型ビジネスモデルへの転換
テクポリマー	・液晶ディスプレイ光学用途における競合優位性の維持・強化 ・電子材料分野など新規領域への展開
モビリティ	
ピオセラン	・部材：ピオセラン2.0と設計技術力で、競合優位性を再強化 ・梱包：ReNew⁺の市場投入、資源循環型ビジネスモデルへの転換
ST-Eleveat	・多彩なラインアップで、次世代モビリティの多様な開発ニーズに対応 ・Proseatの開発ルートを活かす用途開発チームを立ち上げ、採用を加速
医療・健康	
テクノゲル	・生体センサーやウェアラブル領域にオープンイノベーションで複合素材展開 ・AIを活用したゲルパックを武器に、拡大するスキンケア需要を取り込み
エラスティル	・シューズ部材用途の拡販と、新規用途開発を並行して推進







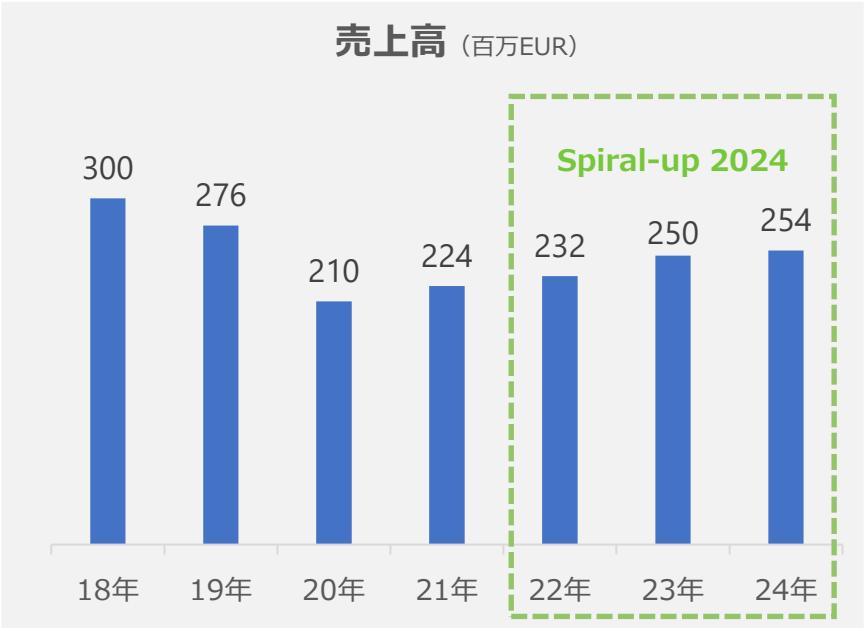
Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2023年度 インダストリー分野（Proseat事業） 見通し

(単位：億円)	2022年度 実績 (A)	2023年度 見通し 上期	2023年度 見通し 下期	2023年度 見通し (B)	前年比 (B)－(A)	前年比	2024年度 見通し
売 上 高	**313**	174	164	**338**	24	108%	**350**
営業利益	△ **30**	△ 14	△ 1	△ **15**	14	―	**0**
<営業利益率>	―	―	―	―	―	―	―

前年比「増収・増益」を見込むも、黒字転換は2024年度となる見通し



Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2023年度 インダストリー分野（Proseat事業） 見通し

- 販売・生産性・調達・労務コストなど全面的な改善を実施
- 低収益事業の撤退と経営体制変革により、事業構造を改革
- LWC・Trim・Foamの各部門ごとに施策を断行

収益性改善計画（前年比）	＋（改善）	エネルギー・部材価格転嫁、価格改定	＋ 31億円
		生産性改善、調達コスト低減、労務費・経費削減	
		販売増による収益改善	
	△（負担増）	人件費上昇、減価償却費増など	△ 17億円
		本社部門、工場人員リストラ費用	
		合　計	＋ 14 億円

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

※LWC = Light Weight Components（軽量構造部材）

Spiral-up 2024

2023年度 インダストリー分野（Proseat事業） 成長戦略

戦略

BEVを中心とした軽量化部材・バッテリー周辺部材への参入により
コモディティ化した事業から脱却し高収益事業に変革する

LWC 部門		■ 「ST-Eleveat」など新素材による新規部位の受注獲得 ■ 発泡体と異素材の軽量複合部材による新規部位の受注獲得 ☞ 欧州から、グローバルBEV部材の"デファクトスタンダード化"を狙う
Trim 部門		■ 統合した新工場におけるベストコスト追及 ■ 汎用品から高付加価値品への物件受注シフト
Foam 部門		■ エネルギー・部材コスト等の増分コストの価格転嫁再交渉を実施 ■ 収益性を確保できる販売先比率の向上 ■ 低採算プログラムからの撤退

目指す姿 （競争優位性）	欧州OEMの高度化された要求事項に対し SEKISUI KASEI の「素材開発力」と、Proseat の「開発提案力」で 差別化されたソリューションを提供する

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

2023年度 ヒューマンライフ分野 見通し

(単位：億円)	2022年度 実績 (A)	2023年度 見通し 上期	2023年度 見通し 下期	2023年度 見通し (B)	前年比 (B)－(A)	前年比	2024年度 見通し
売 上 高	**526**	260	280	**540**	14	103%	**560**
営業利益	**26**	13	14	**27**	1	105%	**31**
<営業利益率>	<4.9%>	<5.0%>	<5.0%>	<5.0%>	－	－	<5.5%>

原材料価格の落ち着きと、シート事業の数量増などで、前年比「増収・増益」

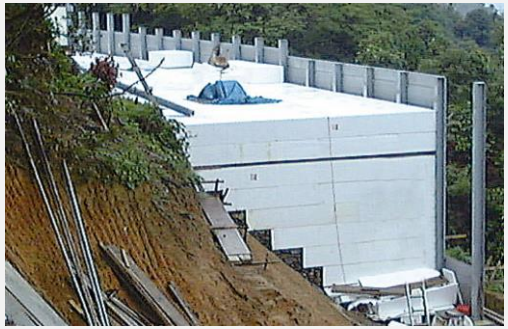
食（シート）

・大分工場の生産能力回復や、エスレンシートRNWなどの環境貢献製品の拡販により「増収」

食（ビーズ）

・需要回復に加え、エスレンビーズRNWなどの環境貢献製品の拡販により「増収」

住環境・エネルギー



・22年度の遅延工事案件の進捗及び、エスレンビーズRNWなどの環境貢献製品の拡販により「増収」

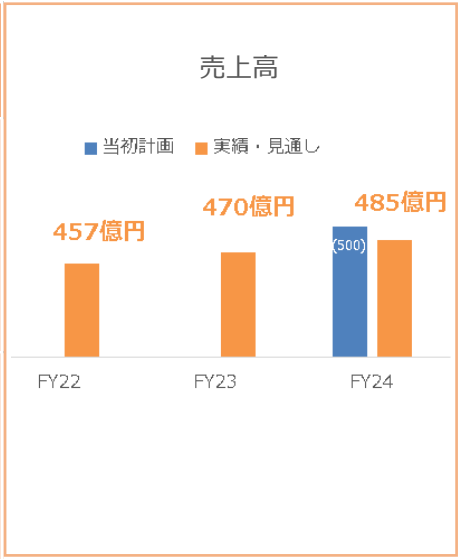
Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

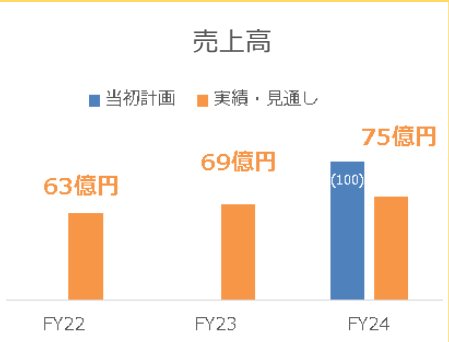
2023年度 ヒューマンライフ分野 成長戦略

食領域におけるマーケットの変化に迅速に応え、収益源を盤石にしつつ、防災・減災、エネルギーなどの新分野（期待領域）を伸長させる

食	
シート	・お客様のプラ使用量削減やCO2削減ニーズに応える発泡シートの拡販 ・エスレンシートRNWやインターフォームBIOなど、環境貢献製品の事業拡大 ・テイクアウト・宅配・EC市場など、新市場ニーズに応じた素材提案の推進 ・サプライチェーン強靭化 (SCM、販売伸長に合わせた生産能力拡大)
ビーズ	・エスレンビーズRNWの拡販 ・当社独自技術によるリサイクル製品の展開および、関連投資の推進 ・水産養殖向け用途や、農産物輸出向け用途への展開



住環境・エネルギー	
住環境	・防災・減災・インフラ整備などで独自製品を展開 （ゲリラ豪雨対策＝アクアロード、災害復旧=EPS工法・EPSスロープ など）
エネルギー	・再生可能エネルギー施設向け資材の拡販展開 （水上ソーラーフロート、他新規開発中案件など）



Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

設備投資

(単位：億円)	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予定
設備投資額	53	54	38	37	60
減価償却費	61	62	62	57	63

- 2022年度：収益状況と市場環境変化の見極めなどにより投資を抑制
- 2023年度：能力拡大、省エネ・省人化投資、環境投資、ＤＸ投資、研究開発投資を実施

- 主な設備投資

2022年度 実績

・生産能力拡大 （テクポリマー）
・省エネ・省人化設備
・環境投資 （再生可能エネルギー）
・情報システム投資

など

2023年度 予定

・生産能力復旧・拡大 (大分PSP生産設備)
・省エネ・省人化設備
・環境投資（リサイクル設備）
・情報システム投資（DX関連）
・研究開発投資（評価/分析・新規開発用設備）

など

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

株主還元（配当）

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 （予定）	2023年度 （予想）
1株あたり当期純利益(円)	51.29	24.86	△ 130.99	10.00	12.15
1株あたり配当(円)	30	21	12	12	12
配当性向(連結)	59%	84%	–	120%	99%
自己株式取得(百万円)	–	141.5	–	–	–
総還元性向(連結)	59%	97%	–	120%	99%
ROE	3.6%	1.6%	–	0.8%	1.0%
自己株式消却(万株)	–	–	–	–	–

● **配当政策**　配当性向 30～40%を目処に、連結業績の動向に応じかつ、配当の安定性と内部留保のバランスを総合的に判断

2022年度：12円/株（予定）　※ 中間配当3円/株（実施済） + 期末配当9円/株（予定）
2023年度：12円/株（予想）　※ 中間配当3円/株 + 期末配当9円/株

● **自己株式取得**　2021年2月に自己株式の取得を実施

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

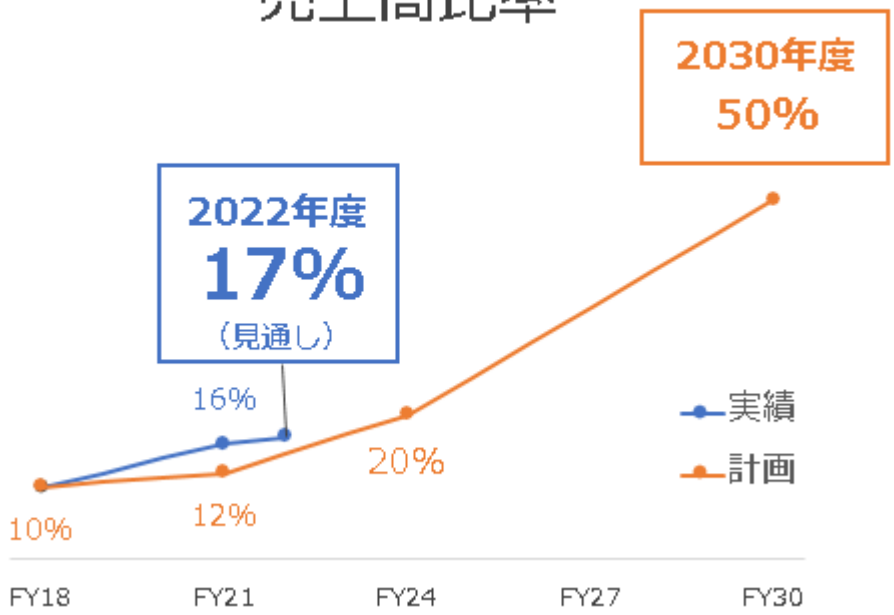
Spiral-up 2024

環境・社会課題解決型事業への転換

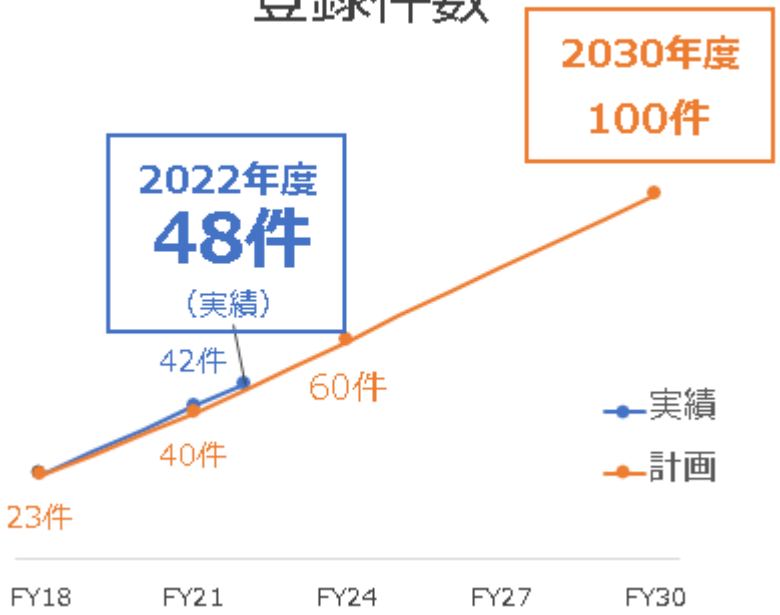
SKG-5R　2030年目標に向けた進捗　[環境貢献製品の創出と拡大]

Sustainable Product STAR

売上高比率



登録件数



売上高比率・登録件数ともに、ほぼ計画通りの進捗となっています

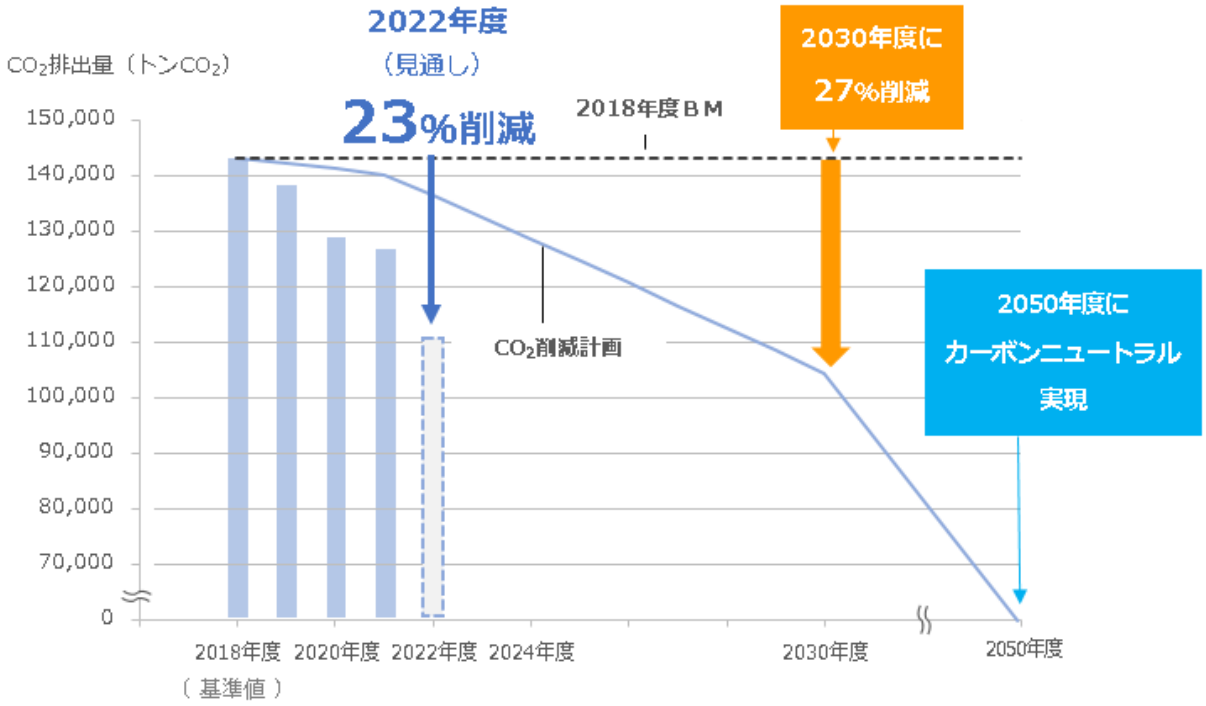
Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

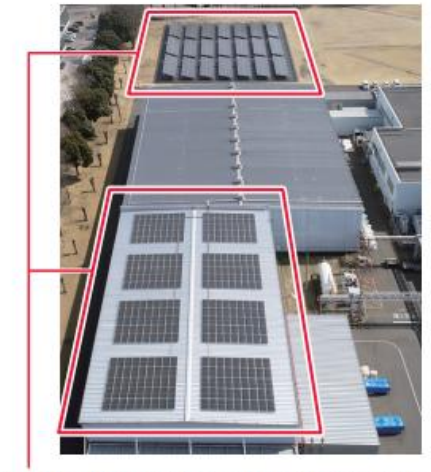
Spiral-up 2024

環境・社会課題解決型事業への転換

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

SKG-5R 2030年目標に向けた進捗 [ＣＯ２排出量削減]





積水化成品関東（下館）の太陽光発電設備

生産の高効率化や、再生可能エネルギー導入などで、計画を上回る進捗となりました

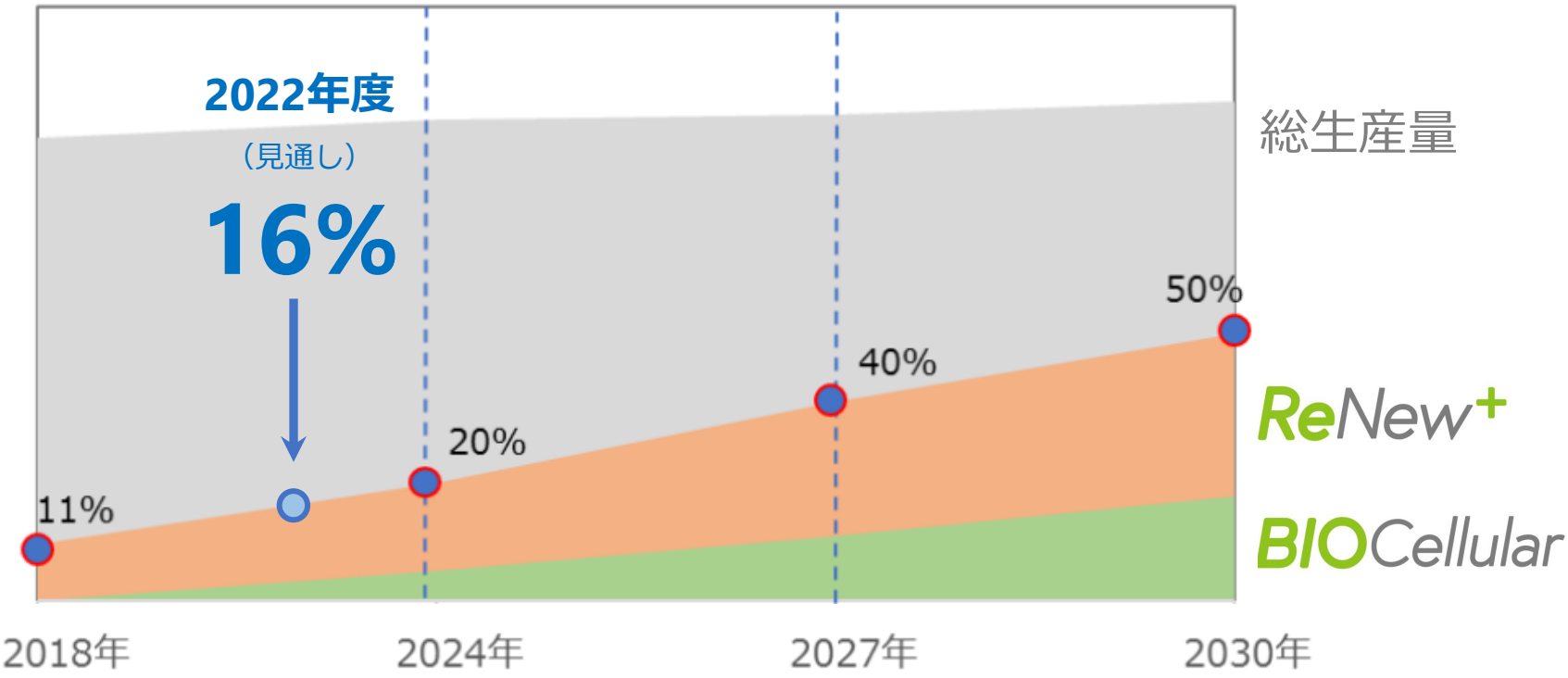
TCFD提言に基づく情報開示を実施しており、今後も情報開示の一層の充実をはかります

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Spiral-up 2024

環境・社会課題解決型事業への転換

SKG-5R　リサイクル+バイオマス比率　2030年までに 50%以上 を目指す



「エスレンシート」など、リサイクル製品の生産比率が向上し、計画通りの進捗しました

2023年度は、「エスレンビーズ」や「ピオセラン」のリサイクル製品の拡販を計画しています

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

環境・社会課題解決型事業への転換

SKG-5R　環境価値向上に寄与する製品ラインアップの増強

ピオセラン2.0　（ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体）

ピオセラン RNW　ReNew+

お客様から使用済みピオセランを回収し、「ピオセラン RNW」として再生、資源循環を可能としました。

ピオセラン LW （Light Weight）　Reduce

自動車部材向けに発泡倍率を45倍とし、従来品（発泡倍率35倍）から約30%の軽量化を実現しました。

ピオセラン HS （High Strength）　Reduce　Reuse

重量物梱包でのリターナブルニーズに応えるべく、主要な発泡倍率 5～10倍における強度を20～30%高めました。

資源循環や更なる軽量化ニーズに応えるグレードを新設しました

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

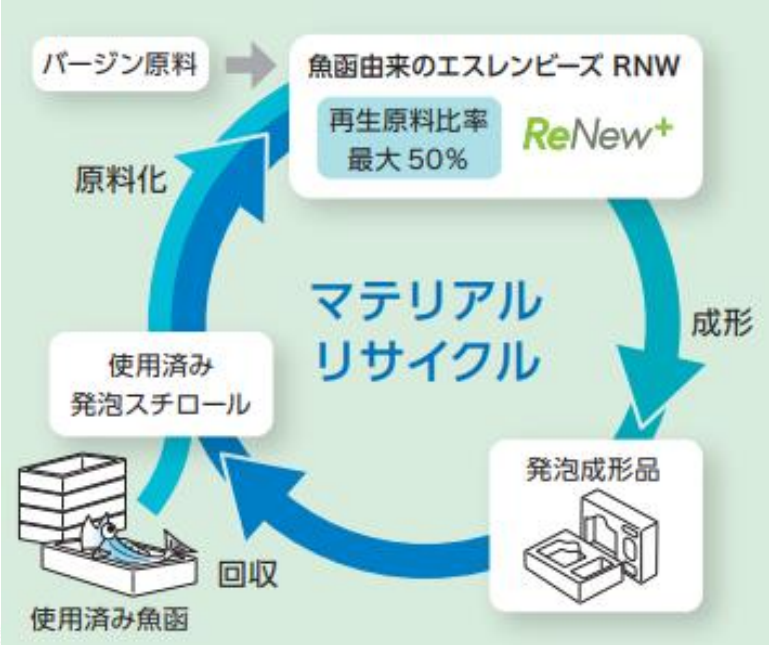
環境・社会課題解決型事業への転換

ReNew+

リサイクル原材料を活用した製品カテゴリーブランド

エスレンビーズ RNW （リサイクル発泡性ポリスチレンビーズ）

使用済み魚函をリサイクルした「エスレンビーズRNW」を開発しました



魚函の臭気成分の特定と脱離の検討を進め、当社独自のリサイクル技術と重合技術を融合させ、従来は困難だった魚函から発泡スチロールへのリサイクル技術を確立しました。

魚函由来の再生原料比率を最大50%まで可能とし、バージン原料を使用した発泡スチロールと同等性能での提供が可能です。

まずは、工業物流資材、建材、土木関連用途での採用を想定しています。

Spiral-up 2024

環境・社会課題解決型事業への転換

BIOCellular

生分解性またはバイオマス原材料を活用した製品カテゴリーブランド

RETONA FOAM BIO （生分解性発泡体）

従来の発泡樹脂と比べ、加工性や意匠性に優れた「生分解性発泡体」です

- PLAやPBSなど生分解性樹脂からなる発泡体です。
- コンポスト(堆肥)など自然界で存在する微生物の働きによって、水と炭酸ガスに分解されます。
- 製品例として、ディスプレイ用途向けでは、しなやかで追従性があり曲面に貼り付けるなどの立体的な造形が可能です。

しなやかで曲面追従性がある素材で、
立体的な造形も可能

地球環境に配慮した生分解性ディスプレイ資材として採用されました
今後、エレクトロニクス領域の電子部品梱包材や、食領域の各種パッケージ資材など
幅広い分野で用途開発を進めていきます

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

経営基盤の強化

■マテリアリティの取り組み強化

**特定したマテリアリティのカテゴリーごとに統括責任者（役員）を配置し、
ＫＰＩマネジメントを通じ、持続的な企業価値向上に努めています**

	カテゴリー	マテリアリティ	推進項目
E	環境	環境貢献製品の創出と事業拡大	SKG-5R推進（サステナブル・スタープロダクトの拡大）
		気候変動対応	SKG-5R推進（省エネ、再生エネルギー活用によるＣＮ実現）
		環境負荷低減	大気・水・廃棄物・有害物質の適正管理
S	革新	ビジネスモデルの強靭性	オープンイノベーション、外部連携・協働取り組み
		ＤＸ推進	生産革新、業務革新、マーケティング革新
	人材	ダイバーシティ	多様な人材活躍（女性・シニア・外国人）
		働き方改革	健康経営推進　ワークライフバランス・多様で柔軟な働き方の諸制度
		ワークエンゲージメント	働く者の成長を促進させる人事制度設計
	品質・保安防災	安全・安心の提供	ゼロ災・品質クレームゼロ推進
G	ガバナンス	コーポレートガバナンス強化	取締役会の実効性向上、グループガバナンスの強化
		コンプライアンス	問題の未然防止、報告体制の充実
		リスクマネジメント	BCPの取り組み推進

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

経営基盤の強化

■マテリアリティの取り組み強化 （Social：社会）

「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定されました

「人的資本経営」の取り組みとして、意欲と能力のある従業員が活躍できる仕組みの強化を進めています

2023
健康経営優良法人
Health and productivity

マテリアリティ「Ｓ：社会」のカテゴリーのひとつに「人材」を据え、下記の取り組みを推進しています

- ダイバーシティ （女性・シニア活躍、グローバル経営人材育成）
- 働き方改革 （健康経営の推進、ワークライフバランス、多様で柔軟な働き方）
- ワークエンゲージメント （エンゲージメント測定、エンゲージメントを高める人事制度設計）

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

経営基盤の強化

■マテリアリティの取り組み強化 （Governance：ガバナンス）

コーポレートガナバンス・コードのうち、
プライム市場に求められる補充原則等への対応を進めております

1-2 ④	議決権行使プラットフォーム	導入済
3-1 ②	英語による情報開示	導入済 （一層の充実を図る）
3-1 ③	ＴＣＦＤ基準による開示	2023年4月27日開示済 （一層の充実を図る）
4-8	独立社外取締役３分の１以上	導入済 （８名中、３名が独立社外役員）
4-10 ①	指名・報酬委員会	任意の委員会として導入済 （今後、役員報酬制度、委員会活動状況など開示の充実を図る）

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

経営基盤の強化

■ 財務体質の強化

資本効率を意識した取り組みを通じ、ROE向上 (2030年度 8%以上) を目指します

収益力の強化	●Proseatの収益改革	経営体制刷新で抜本改革、収益改善スピードを向上
	●事業ポートフォリオ再構築	5事業領域で成長性・収益性を持って資源を再配分
	●生産革新によるコスト競争力強化	革新技術導入とDXで、生産プロセスを抜本改革
	●開発品の早期収益化	RX（ﾘｻｰﾁﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ）を軸に開発スピードアップ
資本効率の改善	●不採算事業からの撤退	低収益事業の資産入れ替え
	●棚卸資産の圧縮	DXなどを活用した生産革新(SCMなど)
	●政策保有株式の検証	

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1 2022年度 決算概要

2 中期経営計画 Spiral-up 2024 見通し

3 積水化成品グループ100年ビジョンの一部改訂について

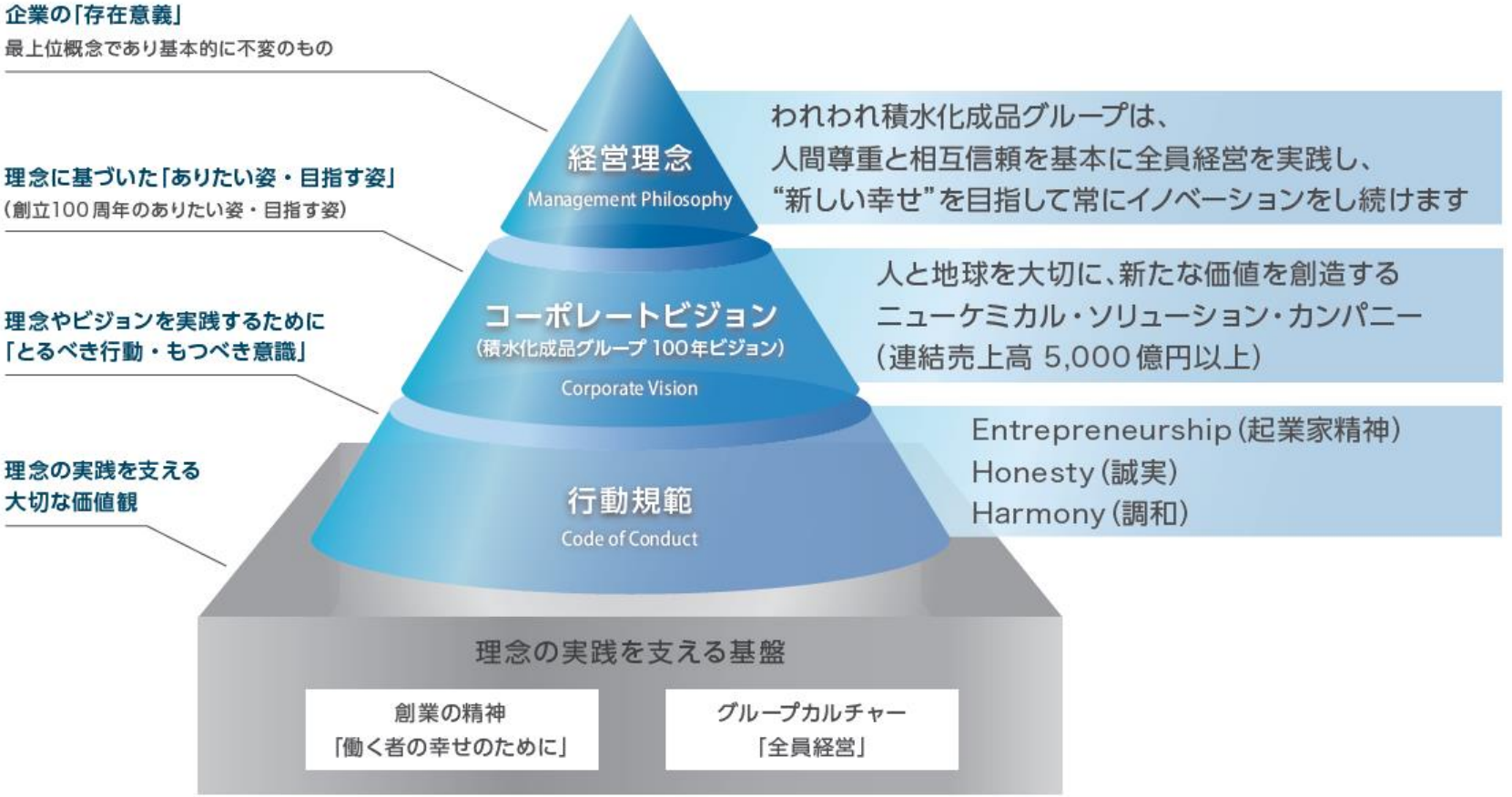
Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Vision of the 100th year

100年ビジョンの見直しについて

創立100周年（2059年）に目指す姿「積水化成品グループ100年ビジョン」を、一部改定し、経営理念の体系化および、上位概念の一部改訂を行いました

※2023年1月4日公表



Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Vision of the 100th year

100年ビジョンの見直しについて

100年ビジョンの見直しにあわせ、
新たに 2030年に目指す事業の方向性「Target 2030」を制定しました

「Target 2030」の位置付け

2059年の目指す姿「積水化成品グループ 100年ビジョン」の実現に向けて、2030年に目指す方向性です。
中期経営計画「Spiral-up 2024」は、「Target 2030」を達成するための経営計画です。

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

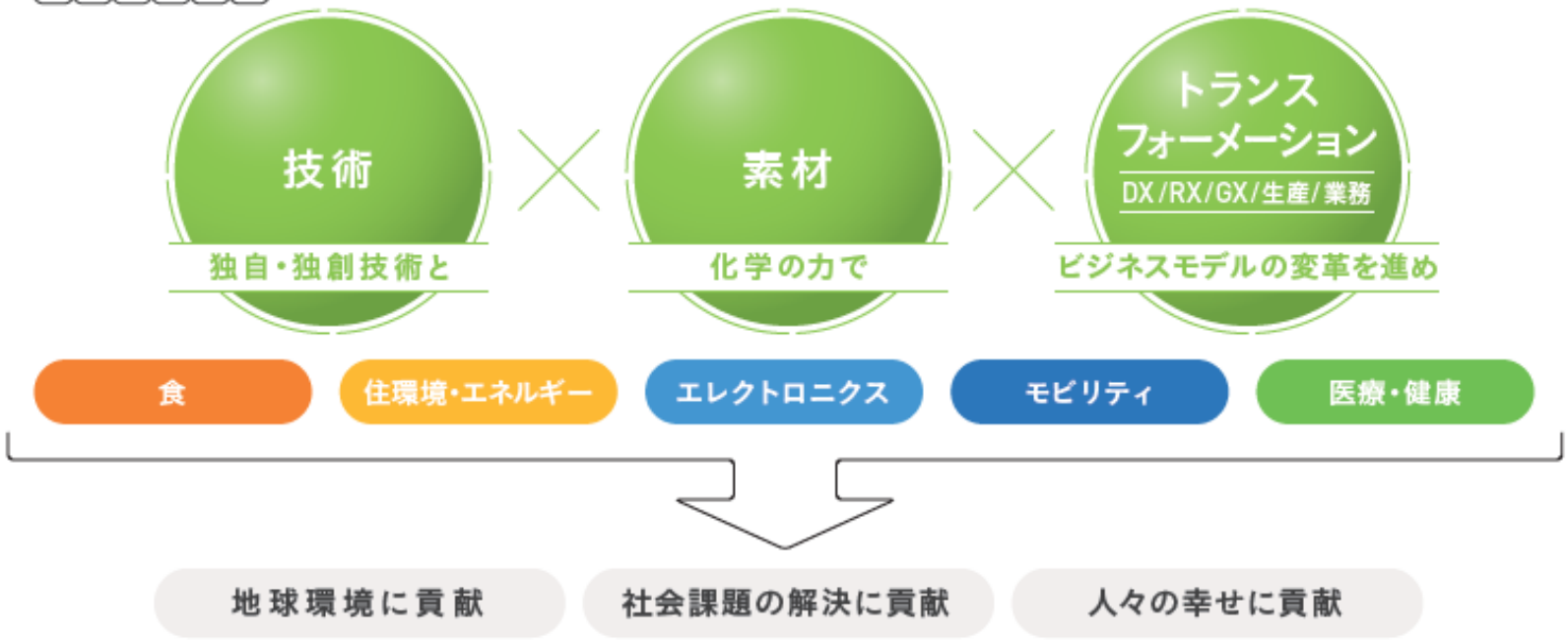
Target2030

2030年に目指す事業の方向性

基本方針

「持続可能社会への貢献」と「持続的な企業価値向上」の両立を実現する

事業ドメイン



Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

Target2030

2030年に目指す事業の方向性

定量目標

	２０３０年度 目標	
業績目標	売　上　高　１,６００億円以上	(2019年　1,100億円)
	営業利益　１３０億円以上	(2019年　37億円)
	営業利益率　８%以上	(2019年　3%)
	ＲＯＥ　８%以上	(2019年　3%)
環境目標	環境貢献製品 売上高比率　５０%以上	(2019年　11%)
	ＣＯ２排出量 削減率　２７%以上	(2018年対比)

※業績目標は、新型コロナウイルス感染症以前の、2019年実績をベンチマークとしています

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報および合理的であると判断する
一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因
により大きく異なる可能性があります。

★内容に関するお問合せは
コーポレートコミュニケーション部 E-mail：ir_pr@sekisuikasei.com

★当社のホームページもあわせてご覧ください。
アドレスは　http://www.sekisuikasei.com/

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.

SEKISUIKASEI

Our Planet. Our Tomorrow.